

## 大学図書館の魅力

子供の頃から図書館が好きでした。

小学生の時通った町立図書館は木造で歩くとミシミシと音がして親しみがありませんでした。以来、図書館は学校の図書室も含め、読書や選書で数時間過ごせるお気に入りの場所になりました。

そんな環境に数年前、少しの変化が訪れます。

以前から文献研究に取り組みたいと考えていましたが、文献収集の難しさが課題でした。この問題の解決策は大学図書館の支援を得ることですが、既に中年の域に達している社会人です。大学図書館は魅力でしたが悩み迷っていました。錯綜の中、山梨大学入学のご許可は勇気を与えてくださり、昨春、学業と仕事を続けてみようとして一歩を踏み出しました。

私の文献収集は山梨大学附属図書館OPACに

アクセスし、所蔵先を確認することからはじまります。所蔵先は本館、他大学、国立国会図書館と広範ですが、相互貸借や文献複写等の協力体制が構築されています。利用者サービスから複写や貸借を依頼し、職員の方に対応いただきます。また医学分館所蔵の文献は自分で複写するのですが、特別利用を活用すれば閉館時間帯でも入室できるので助かります。

この方法で今夏、200を超える文献を入手することができました。大学図書館が本の貸借のみならず学生、教職員、研究者らの情報提供機関であることを実感しています。丁寧にご対応いただく司書、職員の皆様への感謝と共に、新たに大学図書館という大切な場所ができたことを嬉しく思います。

## こえ

## 図書館利用者の声

## 図書館利用の勧め

昨年度の4月に、山梨大学の附属図書館がリニューアルしました。1階の蔵書スペースを利用した大幅な改築は私にとって衝撃的でした。今の図書館と以前の図書館とで大きく異なる点は、その1階のラーニングコモンズだと思います。

私は図書館といえば読書や自主学習をする施設のイメージがありました。しかし、ラーニングコモンズでは学生同士のグループワークを推奨しています。私が図書館を訪れると、ラーニングコモンズにはいつも大勢の学生がいます。学生達は討論に熱中し、従来の図書館とは違った雰囲気があります。

また、図書館ではプロジェクターやホワイトボードの貸し出しも実施しており、グループワークのしやすい環境となるよう配慮しています。サークル活動で、ホワイトボードを利用するグ

ループもあります。私たちはラーニングコモンズを上手に利用した活動を期待しています。

他にも、ラーニングコモンズの利用者は学生に留まらず、就職活動の説明会場としても利用されています。本来であれば、緊張する就職活動の場も、馴染みのある図書館では緊張が和らぐのではないかと思います。

一方で、図書館全体での蔵書スペースが削減され、図書館全体の蔵書数は減少しました（貸出履歴が全くない本など）。「読みたい本が県立図書館にも附属図書館にも無い。」そんなときはMy Libraryから学生希望図書リクエストを行ってみてください。自分で買うのには躊躇うような、値段が高い専門書にはピッタリの方法だと私は常々思います。